

単元名 8 表現を見つめる 一構成や展開を工夫して書こう

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えることができる。
 (2) 起承転結の流れで構成を考え、場面の展開が明確になるように、それぞれの場面での出来事や心情を整理することができる。
 書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合うことができる。
 (3) 粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとする。

標準的な展開例

11210304_001

【準備等】知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 最近の生活を振り返り、物語の題材を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習の目標を理解して学習の見通しをもち、本時の学習課題をつかむ。 <p>★物語の題材を決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物語の書き方について考える。 <p>○最近の生活を下の観点で振り返り、物語の題材にしたい出来事を選ぶ。</p> <p>「心に残る出来事があった日」 「全力で何かに取り組んだ日」 「自分が変わった瞬間を感じた日」</p> <p>○題材として選んだ出来事を詳しく思い出し、メモする。</p> <p>2 書く内容を整理し、心情変化を中心にあらすじを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★物語のあらすじの図を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心情変化のきっかけが分かるようにあらすじの図を書き物語の構成を考える。 <p>3 構成や展開を工夫して物語を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★構成や展開を工夫して物語を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物語を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・「構成の例」(p. 218)を参考に、起承転結の流れで構成する。 ・場面の展開が明確になるように工夫しながら、600字程度の物語を書く。 ○書き終えた文章を推敲する。 <p>4 友達が書いた物語を読み、助言し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 <p>★友達の物語を読み合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達が書いた物語を読み、助言し合う。 <p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した物語や小説を振り返るとき、どのようなところに着目したか。 ・場面の展開が明確になるように、どんなところを工夫したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「目標」「学習の見通しをもとう」(p. 216)を参考に、自分を登場人物とした物語を書くことを確認し、学習全体の流れをつかませる ・「物語」(p. 218)を読み、物語は展開を整理し、情景や心情表現を工夫する必要があることを確認する。 ・「知多の友」に記入させる。左の観点の他に「これが幸福だと実感したとき」「人の温かさを感じたとき」「強く決意を固めたとき」「ずっと忘れたくないと思ったとき」「誰かに伝えたいと思ったとき」「大切なことに気づいた日」などを挙げてよい。 <p>【評】物語の題材を選ぶ活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その時の風景、音、自分や周囲の人々の様子や行動、会話などをメモさせる。 ・「あらすじの例」(p. 217)を参考にして、本時の目標を確認させる。 ・自分の気持ちが変わった瞬間や、最も伝えたい気持ちを選び、変化のきっかけやその前後の出来事に焦点を当てさせる。あらすじの例と同じように、場面と気持ちに分けてまとめさせる。 <p>【評】あらすじを考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の呼称を一人称、三人称のどちらかに決め、書き手の視点を貫かせる。 ・「知多の友」に書かせてよい。 <p>【評】物語を書く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知多の友」を活用する。 <p>【評】物語を読み、助言し合う活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つなぐ」(p. 217)を読み、学んだことを今後どのように生かしていきたいかを考えさせるとよい。 <p>【評】学習を振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【備 考】

第2学年における最終のまとめである。ここでは、様々な文章に触れながら、読んだり書いたりする力をより確かなものにするとともに、人間の様々な営みを見つめさせていく。物語の登場人物は、置かれた状況により様々な側面を見せる。そうした様々な人間の営みに触れるとともに、言葉を通して自らを見つめ直し、人間に対する理解を深めさせたい。

言語活動としては、一年間の学習のまとめとなる壁新聞を作成して発表する際、自分の考えを広げるために、互いの考えについて意見を述べたり助言をしたりする活動がある。この活動は、今後の学習にも生活にも役立つことだろう。

「知多の友」を使用する。